世のため 人のために

防災で未来を守る
ホワイトハウスグループの挑戦 (上)

「救助車両」「小型消火具」

予想外に起きる自然災害では救助隊の現場到着が困難なケースは多い。高速道路のトラック火災でも初期消火の遅れが交通渋滞を引き起こす。こうした中、防災の最前線に挑むのが輸入車やキャンピングカー事業を手掛けるホワイトハウスグループだ。災害現場での迅速な対応を可能にする商材を多く取り揃える。小型救助車両導入や次世代消火具の取扱い、災害協定など官民連携の取り組みも進める。なぜ、自動車ディーラー本業の同社が「防災事業」に参入したのか。その背景には木村文夫社長の強い思いがあった。

阪神・淡路大震災をきっかけに

1995年1月17日の「阪神・淡路大震災」から30年。当時「もう終わった…」と声を漏らしたのが、大阪のホテルに滞在中の若き木村社長だ。その時、感じた恐怖と少年の頃からの実母の「世のため、人のためになりなさい」の言葉。輸入車、キャンピングカー事業を主体に置きながら、ビジネスになり得る防災へのアンテナを張り続けた。

能登半島地震で救援にあたるポラリス・レンジャー(東京消防庁)

時は経ち2015年、オフロード車両「ポラリス・レンジャー」の取扱いを開始した。小型ゆえの機動性や走破性に災害現場での活躍を見出した。特に「小回りが利き、災害現場へ人や機材、物資を運搬できることや悪路走行が可能な利点」を訴求し続けた。19年に東京消防庁に2台採用された。

次世代の消火具「ファイヤーショーカスティック」は油などさまざまな出火原因に対応する

21年の静岡県熱海市の「熱海市伊豆山土石流災害」の不整地での活躍でその走破性能が証明された。24年には総務省消防庁へ納入し、全国6カ所へ配備された。時同じくして、東京消防庁からも4台の追加発注があった。長年構想していた「防災支援がひとつの形になった」(木村社長)出来事だった。

ポラリス・レンジャーは24年1月の「能登半島地震」や今年2月の「大船渡市山林火災」でも能力を発揮した。東京消防庁の特殊車製作係担当者は「機動性が高く災害現場で迅速かつ効果的な対応が可能になった」と評価する。

消防庁など相次ぎ採用

総務省消防庁の消防統計(火災統計)2023年1～12月火災の状況によると、車両火災は3521件で、火事全体の約10%を占める。高速道路でのトラック火災は二次被害として交通渋滞によるさまざまな分野に悪影響を及ぼす。木村社長は「全てのトラックに消火手段を準備しておくべきだ」と危機感を示す。

こうした中、24年2月から新たに防災商品として小型消火具「ファイヤーショーカスティック(FSS)」の販売を始めた。一般の消火器が10型で約5キログラムに対し、FSS100は365グラムと軽量な上、放射時間は約7倍の100秒間の能力を持つ。消火剤は微細なカリウム粒子、水蒸気などを用いるためエンジンルームなどを粉末で汚す心配も不要だ。

軽量かつ放射時間も問題なし

「車に搭載しやすく初期消火に有効な防災商品」(谷川伸一部長)とし、交通インフラや各業界への導入提案を進めてきた。「試験的に導入し、軽量なので迅速な消火活動に対応できるのではないか」(NEXCO中日本の津高速道路事務所管理担当)とし、道路パトロールカーに常備する。昨年末には累計販売1万本を突破した。

ポラリスは災害現場での機動力を高め、FSSは車両火災リスクを軽減する防災商品と位置づける。一方で、災害時に必要なのは「救助車両」や「消火具」のみではなく、いかに避難場所を確保するかも重要な課題だ。

中部圏

tyubu@njd.jp

中部支社 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-22 桜通大津KTビル TEL 052-973-3730
静岡支局 TEL 054-287-3361

ご購読のお申し込みはお近くの中日新聞、北陸中日新聞販売店、静岡県内の方は朝日新聞販売店または上記支社・支局へ

廃車・古い車・事故車・いらない車
KMIが高価買取
リサイクル部品販売も
NGP 廃車王
KMI株式会社
〒503-1382 岐阜県養老郡養老町船附561-1
TEL.0584-36-0022 FAX.0584-35-3550

TAA中部
全会場の記録更新
13日開催AA 6800台の出品 成約台数も過去最多

【津】トヨタユーゼック(北口武志社長、千葉市美浜区)がトヨタオークション(TAA)中部会場の13日の開催で、過去最高記録を更新した。当日は6800台の車両を集荷し、中部会場だけでなくTAA全会場の中で新記録をマークした。成約台数も過去最多となる5924台となるなど、記録ずくめの開催となった。競合が激しい中部地区の中古車オークション(AA)業界で、TAA中部の存在感の高さを改めて示した格好だ。

従来の最多出品台数は中部会場の2012年5月の5751台のため、率にして16・8%、台数で1049台上回った。成約台数の記録も23年5月の横浜会場の4784台で、率として23・8%、台数で1140台更新した。成約率は87・1%の高水準を維持した。

出品台数のうち、北陸サテライトが11444台、静岡サテライトが815台だった。三重県の会場以外に、サテライト会場の出品台数が全体ボリュームを押し上げた。トヨタ系ディーラーからの出品台数が4014台、中古車専業店らが2605台でいずれも過去最高となった。特に後者は、これまでの最多だった2083台から25・1%増という大幅な伸長を見せた。

新井健一会場長は「年度内最後のビックイベントとして、営業担当者が頑張ってくれた」と話す。当日は「春まつり」としてイベントを実施した。ダイハツ、スバル、日野コーナーを設置し、出品賞としてデ・カルネロ・カステの「プレーンカステラキューブ」を用意した。

会宝産業 万博で自動車リサイクル紹介
ゲームや動画で楽しく
9月23日から7日間

【金沢】会宝産業(近藤高行社長、金沢市)は「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」に参加し、会場で自動車リサイクルを紹介する。オンラインゲームや動画などを活用し、来場者が楽しみながら学べるような展示内容とする。同社はリサイクル部品を世界各地に輸出するなど、早くから海外に目を向けてきた。日本を含めて世界各地から多数の消費者が会場を訪れる中で、さまざまな体験企画を提供する。これにより、使用済み車両から部品や資源を回収して再利用する重要性を発信する考えだ。

期間は9月23日から29日までの7日間。開発途上国の持続可能な経済発展を支援する国連工業開発機関(UNIDO)の企画の一部として参加する。

紹介コーナーの中心となるのが、メタバース(仮想空間)を活用したオンラインゲームだ。同社が大阪・関西万博に向けて、金沢工業大学大学院の学生とともに開発した。使用済み車の調達やリサイクル部品の生産、販売を体験でき、どれだけのリサイクル部品を販売できたかが表示される。体験者は自動車リサイクルの流れを楽しみながら学習することが可能だ。

使用済み車を解体する工場の様子をまとめた動画の放映やポスターの掲示なども計画している。多くの日本車が輸出される中、世界各地の人が自動車リサイクルを身近に感じられるようにし、自動車リサイクルの促進につなげる考えだ。

ウィルを導入 交流活発化へ
ステーションAi

スタートアップ支援拠点「ステーションAi」(名古屋市昭和区)で車いす型の電動モビリティ「WHILL(ウィル)」が導入された=写真。身体状況や年齢に関わらず移動しやすいモビリティを取り入れ、交流を活発化させる狙いだ。

スタッフが利用できる。施設内を移動するハードルが高い人の使用を想定する。ステーションAiの各フロアはスロープでつながり、ウィルに乗車したままで周遊が可能だ。

会員専用のオフィスフロアに2台を用意し、入居企業の製品開発元のWHILL(杉江理社長、東京都品川区)担当者は「早速入居者同士の会話の種になっている。ウィルの新しい活用法やビジネスのアイデアも出てくるのでは」と話している。

介助犬の育成支援に寄付金
ネッツ中部

ネッツトヨタ中部(小島武彦社長)は13日、日本介助犬協会(橋本久美子会長)に、介助犬の育成支援金として50万円を寄付した。同社の22拠点に設置した募金箱で集めた5万989円に、自社からの44万9011円を合わせた浄財。

同協会が2009年に長久手市に介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」を開設して以降継続して実施しいる。介助犬育成への支援を通じ、社会貢献活動の一環と位置づける。小島社長は「支援は末永く行うことが重要」と話している。

ネッツトヨタ中部の小島武夫社長が日本介助犬協会の高柳友子理事長に目録を手渡した

名古屋駅前で特別展示会
名鉄AUTO

BMW、ミニ正規ディーラーの名鉄AUTO(奥村悟社長)は12～16日、ミニブランドの車両展示イベント「THE NEW MINI」を名古屋駅前のジェイアール名古屋タカシマヤウオッチメゾンで開催した=写真。2024年10月に全面改良して発売したオープンカー「ミニクーパーコンバーチブル」などを展示し、多くの来場者を惹き付けた。

同スペースは、ブランド時計の販売店が並ぶコーナー。身に付ける物や車に対してこだわりを持つ層を中心に、ミニブランドの魅力を紹介した。

水素と環境のイベント開催
トヨタ車体など

【津】トヨタ車体(松尾勝博社長)、豊田合成、三重トヨタ(竹林憲明社長)は、いなべ市などともに16日、いなべ市役所で、水素と環境のイベント「いなべH2キャンパス『ミラ研』」を開催した=写真。「ミライがみえる」をテーマに、楽しみながら水素と環境を学べるコンテンツを多数そろえた。

トヨタ車体は「コムス」、LEDミニガーデンなどを展示、豊田合成は燃料電池教室、大型タンク、FC(燃料電池)小型商用トラック、FCバスなどの展示を実施した。三重トヨタはTOYOTAマルチパスウエイの展示やFC給電デモ、ドローンデモフライトとドローンベースカーの展示、トイドローン体験などのほか、地元中学生の演奏会にFC「クラウンセダン」からの電気で協力した。来場者は家族連れが多く、楽しみながら水素の可能性を学んだ。

三重トヨタの竹林社長は「『ミライ』を発表したときに、これからは水素社会しかないと思い、水素ステーション事業など、少しでも水素社会に貢献できるよう取り組んでいる」と話し、水素や環境問題を通じて地域社会に貢献している点を強調した。

会場内には「クラウンセダン」(燃料電池車)、「bZ4X」(電気自動車)、「ハリアー」(ハイブリッド車)、「ヴェルファイア」(ガソリン車)、「ランドクルーザー250」(ディーゼル車)という動力源が異なる車両を展示。エンジンとモーターの違いを体感する音体感の実演も行った。

岐阜県自動車流通特集は 12、13面に掲載

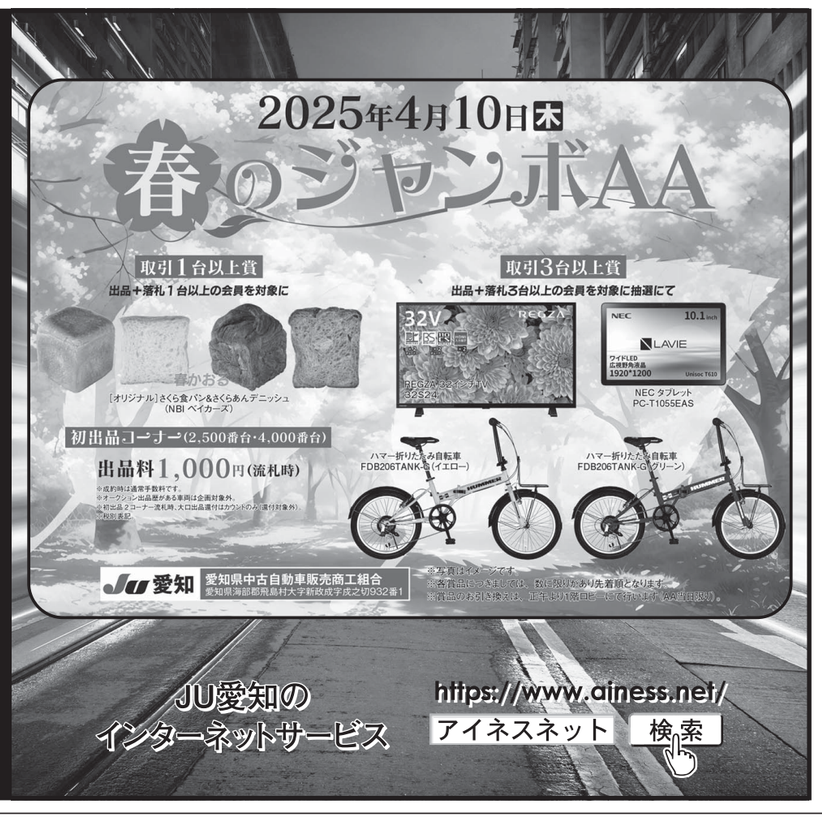
一般社団法人 岐阜県自動車会議所
会長
田口隆男
〒501-6133 岐阜市日置江 2648-2
TEL 058(279)3701(代)

一般社団法人 岐阜県自動車整備振興会
「異常なし」聞きに行こうよ マイカー点検
会長
田口隆男
〒501-6192 岐阜市日置江 2648-4
TEL 058(279)3721

岐阜県軽自動車協会
会長
加藤孝廣
〒501-6256 羽島市福寿町千代田 3-84
TEL 058(394)0257

岐阜県自動車販売店協会
会長
加藤元康
〒501-6133 岐阜市日置江 2648-2
(岐阜県自動車会館内)
TEL 058(279)3761

JU愛知
朝一番のG買取店コーナー
(全車ガリバー出品)から高成約回転中!!
毎週木曜日 開催
AM10:00スタート
JU愛知オークション
TEL 0567-55-2221
〒490-1443
愛知県海部郡飛島村大字新政成字戌之切932番1
● 名二環・飛島北ICより約2分
● 伊勢湾岸道・飛島ICより約5分
● 東名阪・蟹江ICより約20分



中部圏

tyubu@njd.jp
中部支社 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-22 桜通大津KTビル TEL 052-973-3730
静岡支局 TEL 054-287-3361
ご購読のお申し込みはお近くの中日新聞、北陸中日新聞販売店、静岡県内の方は朝日新聞販売店または上記支社・支局へ

ひと息

次の時代を支える皆さんへ

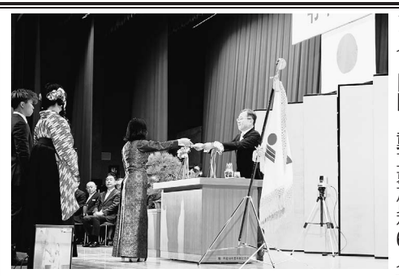
○…このほど30人以上の若手整備士の方、一人ひとりに話を聞かせてもらった。改めて感謝申し上げる。ある取材では、こちらが若い頃に憧れた車の話題になり、プジョー「205」の写真を見せたところ「とてもカッコいい」と、車好き同士の世代を超えた共感に、お互い盛り上がった。「仕事は苦労もあるけど、自分が決めた道だから」という言葉も印象的だった。私も自ら志望したことに対する務めと、半人前にも満たなかった自分を育ててくれた自動車産業に報恩する思いが原動力となっている。仕事は収入以外でも頼りになる存在で、頑張っていれば人生のつらい時に、心の支えになることも。新入社員の皆さん、素敵な社会人生活を。（信）

整備学校で卒業式

トヨタ名古屋自大

トヨタ名古屋自動車大学校（鈴木一郎校長）は、愛知県清須市の同校で「令和7年卒業式」を開催した＝写真。自動車整備科121人、高度自動車科89人、車体整備専攻科15人、国際自動車整備科63人など311人が巣立った。当日は卒業証書授与など厳かな進行の後、教諭が卒業生にインタビューを行った。質問への解答に会場から笑いが出るなど、フランクな雰囲気の中で卒業生を送り出した。

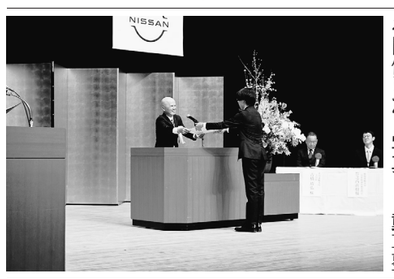
鈴木校長は在学中に取り組んだ出来事を各科ごとに振り返り「主役は皆さん。自信と誇りを持ち、夢に向かって飛躍してほしい」と卒業生にエールを贈った。来賓を代表して中部運輸局技術安全部の森本裕史部長は「学校で学んだ経験と仲間と切磋琢磨した日々を忘れず、進んで欲しい」と祝辞を述べた。



名鉄自動車専門学校

名鉄自動車専門学校（鷲見敏彦校長）は21日、愛知県大口町の同校で「令和6年度卒業式」を開催した＝写真。自動車整備科2級自動車整備士コース77人、初めて卒業生を輩出する1級自動車整備士コース2人、合わせて79人が卒業した。

鷲見校長は「どれほど自動車技術が進化しても人の命を乗せることに変わりはない。人命を預かることに誇りと使命感を持ち、不断の努力を続け、社会に貢献して欲しい」と旅立つ卒業生を激励した。



日産愛知自大

日産愛知自動車大学校（松川健一校長）は、名古屋市の港区文化小劇場で「卒業式」を開催した＝写真。自動車整備科48人、自動車整備・カーボディマスター科17人、1級自動車工学科12人など合計86人が卒業した。

松川校長は「先進技術を学んだ皆さんの成長は、自身が一番よくわかっているはず。今後、困難や苦労に直面した時、学校で学んだことを思い出し、社会人生活の糧としてほしい」と激励した。

静岡工科自大 浜松工科自大

【静岡】静岡工科自動車大学校（古澤浩一校長）と浜松工科自動車大学校（岡部剛校長）は11日、静岡市駿河区の大型イベント施設、グランシップで「令和6年度卒業式」を開催した＝写真。今年度は静岡工科148人、浜松工科22人、合わせて170人が卒業した。式では両校卒業生の代表者が古澤校長、岡部校長から卒業証書を受け取った。

各科の卒業人数は次の通り。

【静岡工科自動車大学校】▽自動車システム工学科＝64人▽自動車整備科＝28人▽国際オートメカニック科＝36人▽ボディエンジニア専攻科＝12人▽開発エンジニアコース＝8人【浜松工科自動車大学校】▽自動車整備科＝22人

年間休日数を120日に

従業員の採用・定着に役立て 石川トヨタ 連休も取りやすく

【金沢】石川トヨタ（架谷洋司社長）は、社員の年間休日数を1日から120日に増やす。従来は108日だったが、各店舗の定休日を増やすことで実現した。石川県内でも少子高齢化が進行し、自動車業界の人手不足は一段と深刻化している。その中で、取り組みを通じて職場の働きやすさを高め、従業員の採用などにつなげる考えだ。

同社は2024年度まで月曜日のみを定休日に設定していた。25年度からは全ての店舗で月曜日に加え、第1火曜日を定休日に追加する。これにより、年間休日数が増え、連休も取りやすくなる。従業員は両日に加え、個々に月3、4日程度の休日を取得する形となる。休日の増加は職種に関係なく、全スタッフが対象。石川トヨタは約270人の社員を有している。

取り組みの背景には、人材確保をめぐる競争激化がある。同社は近年、毎年安定的に新卒社員を採用できているものの、若年人口の減少などで採用環境は今後さらに厳しさを増す可能性が高い。営業職は異業種も視野に入れて就職活動する学生が多く、メカニックも休日の多さを職場選びの優先順位に挙げる志望者が少なくない。休日数を増やすことで、競合相手に負けない労働環境をアピールする。さらに、現役社員のモチベーションも高め、長期定着も目指していく。

FC商用車導入促進へ

愛知県 総決起大会開く

愛知県は20日、燃料電池（FC）商用車の導入促進に向けた総決起大会を、名古屋市港区のみなとアクルス水素ステーションで実施した＝写真。経済産業省がFC商用車の導入や水素ステーションの整備などに意欲的に取り組む地域を「重点地域」として選定する事業の公募開始に合わせて行ったもの。式には大村秀章愛知県知事のほか、トヨタ自動車などが出資するコマーシャル・ジャパン・パートナーシップ・テクノロジーズ（CJPT、中嶋裕樹社長、東京都文京区）や愛知県トラック協会、物流事業者などが出席。愛知県が重点地域に採択され、水素社会の実現に向けた業界横断の活動を進めていく姿勢を示した。

愛知県は2030年度までに7千台のFC商用車を導入する目標を掲げている。小型トラックを5800台、大型トラックを1020台、バスを180台導入する計画だ。

この7千台は国が掲げる全国の供給台数目標の約4分の1に当たる。大村知事は決起大会の挨拶で「意欲的な目標を掲げて、自動車メーカーやステーション事業者、運送事業者、荷主、市町村、行政が一丸となって目標達成に取り組み、水素社会の実現に向けて強くアクセルを踏み込んでいきたい」と話した。

1千回記念AAを開催

CAA岐阜 成約率7割迫る

シーエーエー（CAA、斉藤啓太社長、愛知県豊田市）は25日、岐阜県羽島市の岐阜会場（白木早苗会場長）で「1000回記念サンクスフェスタAA」を開催した＝写真。2004年8月の第1回AA以来、足掛け22年で大台に到達した。

オークションの冒頭、白木会場長は「節目の開催を迎えることができたが、これは一つの通過点だ。より会員の皆様のビジネスに貢献できる運営を目指し、さらなる挑戦を続けていく」とあいさつした。当日は1163台の出品を集め、成約率は67・5%、成約単価は59万円と盛況のオークションとなった。

北陸初のトゥクトゥク専門店

クレールソルティ

【福井】販売コンサルティングを手掛けるクレールソルティ（椎尾康一社長、東京都中央区）は、福井市内の商業施設に北陸初の「トゥクトゥク」の専門店＝写真＝を出店した。日本仕様の電動トゥクトゥクを企画するビークルファン（松原達郎社長、東京都江戸川区）代理店として「ビークルファン福井パリオシティ店」を運営する。交通インフラの整備が遅れる福井県で、近距離移動中心の新たなモビリティの可能性を訴求する。

同店が取り扱う電動トゥクトゥクは、走行距離は100キロメートルに満たない一方で、家庭用コンセントで充電できる。車庫証明や整備などの維持コストを抑制することも可能だ。椎尾社長は「日常走行や走りを楽しむ移動手段として、広く普及させていきたい」と語る。

三五ものづくり財団などが助成金贈呈式

三五ものづくり財団（恒川幸三代表理事）は20日、名古屋市熱田区の三五本社で第5回助成事業の助成金贈呈式を開いた。助成件数は19件、金額の合計は約2570万円。今後の助成活動のあり方について、研究者らと話し合う場なども設けた＝写真。

2020年に設立された両財団は、ものづくり領域への研究助成と、自然共生活動への助成を全国規模で行う。もの

のづくり財団では、尿素SCR（選択触媒還元）システムのNOx（窒素酸化物）浄化性能向上を研究する早稲田大学の草鹿仁教授や、軽量耐熱複合材料の高機能化を研究する熊本大学の白石貴久准教授らを助成する。自然共生財団では、植樹や育樹、環境教育の啓発活動を助成する。

恒川代表理事は「世の中は確実に変化している。活動が今後の成果につながることを期待する」と述べた。

整備技能競技大会の報告も

岐阜整振が理事会

【岐阜】岐阜県自動車整備振興会（田口隆男会長）は、岐阜市の同振興会館で「第50回臨時理事会」を開催した＝写真。2025年度の事業計画案や収支予算案を承認した。「第25回全日本自動車整備技能競技大会」に向けた報告も実施した。

25年度の事業計画では、電子制御装置整備認証の全会員取得に向けた対応、自動車整備人材確保・育成地方連絡会の情報交換、高校訪問の実施などを含む8項目を重点項目として掲げた。予算案は経常収益が3億3415万5000円で、経常費用が3億3206万2100円。

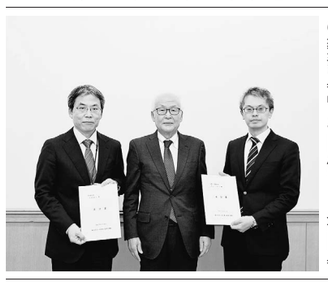
26年度に開催予定の全日本自動車整備技能競技大会への県代表選手選出に向け、10月25日に「第20回岐阜県自動車整備技能競技大会」を実施する。各ブロック計6チーム（1チーム2人）が参加予定だ。

県へ道路整備に関する要望書

福井県自動車会議所

【福井】福井県自動車会議所（浮田啓三会長）など県内の自動車関連11団体は18日、福井県に道路整備に関する要望書を提出した＝写真。車での移動が中心となる同県内の道路の整備、改善を通じて交通インフラの充実を要望した。

福井市の福井商工会議所に関係者が集まり、「道路管理者（国・県）と自動車業界との懇談会」を開催し、浮田会長が各団体を代表し要望書を提出した。浮田会長は「国、県、市町村で連携し、道路ネットワークの整備を推し進めてほしい」と求めた。



愛整振・商工組合が理事会

愛知県自動車整備振興会・商工組合（川村保憲会長・理事長）は、蒲郡市の三河教育センターで整備振興会「第26回理事会」、商工組合「第83回理事会」を開催した＝写真。2025年度の事業計画案や収支予算案などを審議、承認した。定時総会と通常総代会の開催日時と会場についても承認した。

川村会長・理事長は「整備業界では今後、次々と新たな制度が施行される。人材不足も重点課題で、積極的にさまざまな事業を推進し、業界の発展を目指したい」とあいさつした。

公園に苗木贈呈

三重トヨペット

【津】三重トヨペット（井上喜晴社長）は伊賀市の三重県上野森林公園で、苗木の贈呈と植樹を行った＝写真。同社は環境保全と緑化活動として1976年から「ふれあいグリーンキャンペーン」を展開しており、今回も300本の苗木を贈呈。そのうちの51本を同公園に贈り、植樹した。

苗木の贈呈にあたり、井上社長は「しっかりと環境に取り組み、地域から愛され、信頼される会社を目指して引き続き取り組んでいきます」、同公園の神名清文所長が「苗木をありがとうございます。ミモザはいち早く春を告げる花。花を見て癒されて帰ってもらえるように期待しています」と、それぞれあいさつした。

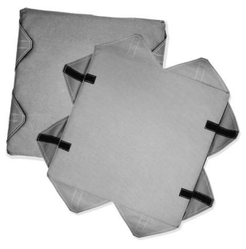
今回植樹した苗木は「ミモザアカシア」。川喜田久会長、井上社長、川喜田雅則副社長ら役員のほか、従業員やその家族の合計49人が参加して、協力しながら公園内に植樹した。

太平洋工業 防災マットが中部国際空港に採用

ウレタン端材・廃材を再利用

太平洋工業は20日、製造過程で発生するウレタン端材・廃材をクッションとして再利用した防災マット「MATOMAT（マトマット）」＝写真＝が、中部国際空港に採用されたと発表した。

同製品は、災害時に避難場所などでつなげて使用できるマット。組み立てなどの準備が不要で、クッション性も高い。同空港の備蓄倉庫では、8千人が3日間滞在できるだけの食料品や簡易トイレのほか、毛布なども保管するが、避難生活のさらなる環境改善のため採用されたという。



サロン

○…「昨季の決算で素晴らしい結果を出せたのは、社員の頑張りのおかげ。4月にはその実績に見合った還元を行う」と語る、アタックスの長崎努社長。昨年リニューアルオープンしたアップガレージ一宮インター店には2億円超を投じたが、営業利益は同社として過去最高を更新した。

○…自玉となるのが昨年比で2・6倍の額となるベースアップと、住宅手当を一律2万円支給に改定することだ。社員に伝達した際には、待遇改善に見合った働きをして会社に貢献するという意気込みが聞かれたそうだ。「会社側の施策に応えて従業員が努力する、良い循環が生まれている。それを魅力に感じて入社してくれる人材も少なくないのでは。今回の賃上げで、採用面もさらに充実できる可能性がある」と期待を寄せる。

避難所問題に着目

防災で未来を守る

ホワイトハウスグループの挑戦 ㊥

「仮設シェルター」「キャンピングカー」

被災時も安全、快適に

ホワイトハウス（木村文夫社長）は輸入車やキャンピングカー販売を主体に置きながら、防災事業に力を入れてきた。その取り組みは多岐にわたるが、未曽有の災害では多方面の活躍ぶりに関係者からの評価は高い。一方で、同社では被災地の避難所問題にも着目している。地球温暖化などの影響で世界各地で自然災害が多発する中で、被災の震源地からの脱出は容易ではない。通常とは異なる生活環境でいかに快適に被災者が過ごすことができるのか。思案の先に従来の枠に捉われない新たなアイデアを打ち出した。

救助隊が指揮する場所としても

災害発生後は避難所行きを強いられる住民が多数発生する。半面、避難所は感染症のリスクやプライバシー保護の観点から問題点は多い。同社は2019年から半球型仮設シェルター「イージードームハウス」の発売を開始した。風雪に耐えられ、耐久性も高く木村社長は「避難所以外に救助隊が指揮する場所として普及させたいと考えていた」と話す。

新たな「避難スペース」として採用が進むイージードームハウス

しかし、この商品は思いがけない形で日の目を見ることに。20年の「新型コロナウィルス」感染拡大だ。医療機関ではPCR検査などの際の「個別スペース」が求められ、3密を回避する手段としても最適だった。最終的には全国で1020基、このうち医療機関で670基にまで導入が進んだ。

コロナ禍を経て、活用方法は広がりを見せる。体育館のような広大なホールだけではない避難所としての役割だ。さまざまな場所に臨機応変に設置可能で、大人2人で約90分と組立て作業は容易だ。これにより、住民を分散して避難させることができる。

同社の屋内中古車展示場「オートプラネット名古屋」が位置する愛知県東郷町と19年に災害時協定を締結し、イージードームハウスも寄贈した。官民連携で防災強化を図っており、東郷町総務部防災安全課の担当者は「災害対策の1つとして町内の防災倉庫に配備し、プライバシーを確保する手段として備蓄している」という。

フリードクロスターをベースとした現代版防災くん「sonae（ソナエ）」

ホワイトハウスのキャンピングカーは多くのアウトドアユーザーに支持されてきた。そのノウハウは防災分野でも生きている。代表例の1つが今年発表したホンダ「フリードクロスター」ベースの「sonae（ソナエ）」だ。

フルフラットベッド化が可能

キャンピングカーはレジャーのイメージが強い中、谷川伸一部長は「災害時に使えるクルマとしての価値を提案する」と強調する。車内はフルフラットベッド化が可能なことに加え、電力供給システムやシャワー、トイレを備える。被災時でも最低限の生活スタイルは確保できる仕様だ。ファミリーカーをモデルとすることで、普段使い以外の避難拠点としての利用をアピールする。

こうした一般車両の防災活用への発想は決して新しいものではない。ホワイトハウス自身が1990年代にホンダ「バモスホビオ」をベースにした防災車両「防災くん」を販売していた。しかし、当時はまだ今ほど激甚災害が多発することなく、注目を集めなかった。

それから約30年。地震や台風の激甚化、コロナ禍を経て「車中泊避難」が現実的な選択肢として受け入れられつつある。同社が長年積みかねてきた技術と経験がまさに花開こうとしているわけだ。

中部圏
tyubu@njd.jp
中部支社 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-22 桜通大津KTビル TEL 052-973-3730
静岡支局 TEL 054-287-3361
ご購読のお申し込みはお近くの中日新聞、北陸中日新聞販売店、静岡県内の方は朝日新聞販売店または上記支社・支局へ

わたしたちにおまかせ下さい　廃車・事故車・引取処分　リサイクル部品のご用命
ISO14001 取得
①KMI(株) 0584-35-3441(岐阜県養老町)
②(株)吉田商会 0532-53-3907(愛知県豊橋市)
③(株)テラダパーツ 0566-22-3709(愛知県刈谷市)
④(株)カーグリーコマゼン 0567-68-4182(愛知県弥富市)
⑤(有)オートパーツまるも 059-329-3987(三重県四日市市)

新戦力の活躍に期待

中部地区の各社が入社式

中部地区の自動車流通業界でも各社が入社式を開催した。各首脳は新入社員を歓迎し、社会人としての心得や仕事の進め方などをアドバイスした。自動車業界全体が変革期を迎える中で、フレッシュな新戦力の活躍に期待がかかる。とりわけ少子高齢化に伴って空前の人出不足が進行し続けているだけに、自動車業界に従事する若者の役割は大きい。

NTPグループ

NTPグループは名古屋市中区のNTPビジネスプラザで合同の入社式を開いた＝写真。NTP名古屋トヨペットが106人、NTPトヨタ信州が10人、トヨタレンタリース名古屋が22人、トヨタホーム名古屋が10人、NTPシステムズが1人、NTPセブンスが9人で総勢158人が一堂に会した。小栗一朗NTPホールディングス社長は「社会人生活で大事なのは健康で、十分な睡眠やリフレッシュの時間が不可欠。新入社員の特権は分からない点を質問できること。配属後にはどんどんさまざまなことを聞いてもらいたい」と訓示した。

愛知ダイハツ

愛知ダイハツは名古屋市中区のホテルでADWホールディングスと合同で入社式を開催した＝写真。内訳は愛知ダイハツが営業11人、サービス9人、ADWホールディングスが営業1人、サービス4人の合計25人。坪内隆暁社長は「25人の同期は仲間で大事にして欲しい。これから多くのことを経験するが、失敗を恐れず、新入社員らしく明るく、元気に取り組んでもらいたい。皆さんの入社を祝うとともに、立派に成長することを期待する」と激励の言葉を述べた。

キリックスグループ

キリックスグループは一足早く、3月29日に入社式を開催した＝写真。キリックスリースが23人、トヨタモビリティ東名古屋が54人の合計77人が同社の門を叩いた。当日は男子バレーボール元日本代表監督の植田辰哉氏が「自分で限界を決めるな～夢は必ず叶う～」と題した記念講演を実施した。山口茂樹キリックスグループ会長は「仕事に必要な能力は人間力だが、難しく考える必要はない。明るく、元気よく、誠実に、自ら考えて行動して欲しい。その中で工夫して成長してもらいたい」とあいさつした。

日産プリンス名古屋

日産プリンス名古屋は名古屋市中川区の同社山王店で入社式を実施した＝写真。今年度の新入社員は計32人で、カーライフアドバイザー7人、テクニカルアドバイザー4人、テクニカルスタッフ21人だった。

1日付で就任した神田昌明社長は「同期のつながりを大切に、仕事が上手くいかない時は1人で抱え込み過ぎず、周りの人に相談して明るく頑張ってほしい」と呼び掛けた。

愛知日産

愛知日産は3日、名古屋市熱田区の本社で入社式を実施した＝写真。今年度はカーライフアドバイザー13人、テクニカルアドバイザー3人、テクニカルスタッフ26人、カスタマースタッフ2人の計44人を迎え入れた。

神田社長は式辞で「選んだ会社を誇りに思い、仕事が楽しくなる方策を考えてほしい。私も店舗をよく訪れるので、皆さんとお店で会えることを楽しみにしている」と呼び掛けた。同社は26年4月に日産プリンス名古屋と統合して新たに「日産愛知販売」となることが決まっており、式では統合の狙いや期待する効果なども説明した。

静岡トヨタ

静岡トヨタは静岡市駿河区の本社で入社式を開催した＝写真。今年度は営業6人、サービスエンジニア24人、フロアアシスタント3人を採用し、総勢33人を新たな仲間として迎え入れた。

席上、太田勝之社長は新入社員に企業理念やビジョン、行動基準などを説明し「より良い会社を目指して一緒に前へ進みましょう」と激励した。新入社員を代表し、尾上こころさんが「静岡トヨタの社員として社会に踏み出せる喜びで胸がいっぱいです。車はお客さまの人生を彩る存在。気を引き締めて尽力していきたいと思います」と答辞を述べた。

岐阜ダイハツ

岐阜ダイハツは岐阜市手力町の本社で入社式を開催した＝写真。営業2人、メカニック2人の合計4人が社会人としてスタートを切った。式ではフレッシュマンたちが元気に自己紹介した。佐藤哲也社長は「本日から研修がスタートする。その後は配属先で知識や技術を習得してほしい。当社は昨年創立90周年を迎え、100周年に向けて歩んでいる。変化が多い時代で企業が継続するには、地域に必要とされる会社を目指さなくてはならない。皆さんと一緒に取り組みたい」とあいさつした。

CAA

シーエーエー（CAA）は愛知県豊田市の本社で入社式を開催した＝写真。今年度の新入社員は4人で、式典で斉藤啓太社長は「当社の目標は顧客から選ばれる会場になることと社員が生き生きと働ける職場になること。実現に向けて皆さんと会社を良くしていきたい」と呼びかけた。その後、新入社員が1人ずつ決意表明し「学生時代に打ち込んだ野球で培ったチームワークを発揮し、会社に貢献したい」などと抱負を述べた。

愛知日野

愛知日野は名古屋市瑞穂区の本社で入社式を実施した。メカニックや営業職など計21人の新入社員を迎えた＝写真。川村保憲社長は式辞で「歴史が長い会社だが、近年はデジタル化に力を入れるなど脱皮を繰り返している」と同社の現状を説明した。その上で新入社員に対し「好奇心や問題意識を持ち、いろいろなことを先輩に聞きながら仕事を覚えていってほしい」とエールを送った。先輩社員が新入社員代表へインタビューし、最後に出席者全員で記念撮影するなど終始和やかな雰囲気の中で交流を深めた。

トヨタユナイテッド静岡

トヨタユナイテッド静岡は2日、静岡市内のイベント施設で2025年度の入社式を挙行した＝写真。今年度はモビリティアドバイザー6人、サービス部門21人、フロアスタッフ10人、サポートスタッフ1人の総勢38人が入社した。

桝谷安城社長は式辞で「仕事の結果は、考え方と熱意と能力の3つの掛け算で決まる」という稲盛和夫氏の言葉を紹介し、仕事との向き合い方に対する自身の思いを説明した。「これからそれぞれの持ち場で自分に磨きを掛け、人生の円を大きくしてほしい」と鼓舞した。

ICDA HD

ICDAホールディングスは鈴鹿市内で「令和7年度ICDAホールディングスグループ入社式」を実施した＝写真。今年度はグループ全体で合計23人（営業6人、整備6人、サービスフロント事務4人、ショールームスタッフ6人、リサイクル1人）が入社。新入社員研修を経て、ホンダ四輪販売三重北、オートモール、マーク・コーポレーションに配属される。

向井弘光社長は「本当の勉強は社会人となった今日から。人間として誠実に」、向井俊樹副社長は「夢を持ち、ビジョンを持って努力してほしい」などと激励した。

防災で未来を守る ホワイトハウスグループの挑戦 (下)

木村 文夫社長に聞く

車のポテンシャル 改めて訴求

今後は一般家庭へ普及浸透を

ホワイトハウスグループは自動車販売、整備を主体にしながらも、防災を新たなビジネスの軸とすべく取り組んできた。ここ数年で救助車両、火災対策、車中泊避難など多角的なアプローチを展開してきたが、今後は異なる方面へのPRを模索する。カギとなるのは日常の延長線上の防災だ。同社の木村文夫社長に今後の事業見通しや将来の理想像などを聞いた。

―防災事業に乗り出した経緯は

「阪神・淡路大震災の印象は強烈で、あの時の恐怖を忘れたことはない。その後も世界中で災害が相次ぐ中で、被災地での移動や被災者支援にクルマが果たす役割が大きいことを認識した。また、自分自身が自動車業界に携わる中で、災害現場にこそ『ポラリス・レンジャー』のようなオフロード車の必要性は高いと感じた。とはいえ、取扱いだけでは防災事業とはいえない。自治体や関係機関への働きかけを強める中で、東京消防庁へ2台の導入が決まった。年月を経て熱海市の災害での能力を発揮できたことで実力を認めてもらえた。その後、受注台数が増えていく中で総務省消防庁の採用も決まった。クルマのポテンシャルへの評価が高いことの証だ」

―大規模な自然災害が多発している

「近い将来、南海トラフ地震も必ず来る前提で準備を進めるべきだ。災害を減らすことはできないが、個人や会社でできる対策は少なくない。私たちは防災関連のラインアップを時代の変化や災害の多発具合に応じて拡充してきた。現在では救助車両、仮設シェルター、移動と避難兼用車など他にはない商品を取りそろえることができた。それぞれにユニークな特徴があるため、被災状況に応じて提案できる体制が整った」

―防災事業で目指すものは

「小型消火具『ファイヤーショーカスティック（FSS）』は粉末の消火剤未使用であるほか、通常の消化器と比較して軽量で放射時間が長い。自動車ユーザーだけでなく、あらゆるユーザーに自信を持っておススメでき、さまざまなユーザーとつながりを持つことができる。最近では、自動車業界だけでなく、異業種にも採用事例が増えている。今後の目標として一般家庭への普及浸透を図りたい。最近では1人暮らしのお年寄り増加を背景に、高齢者宅の火災が多いと聞く。そうした住宅に導入を促すのも当社のミッションだ」

―キャンピングカー事業も防災に活きている

「1990年代の防災車両製作当時は激甚災害が今ほどなく、活躍する機会が少なかった。ただ、今年発表した『sonae（ソナエ）』はその時の経験や知見を活用した。日常使いのクルマに非常時のさまざまな設備を組み合わせた。結果として両者を併せ持つことで多数の消費者を販売ターゲットに設定できる。災害向けを想定する中では納期も重要と見ており、量産体制を敷いていく」

―防災事業の今後の展望は

「車を災害時の〝避難場所〟としての有用性の高さをアピールしたい。災害立国の日本では被災は特別なものではない。このため、商品の拡販を通じて減災に貢献し、1人でも多くの人命を救いたい。そのためには防災ノウハウをレベルアップする必要がある」

（この連載は望月章平が担当しました）

社長に神田昌明氏

愛知日産と日産プリンス名古屋

愛知日産（名古屋市熱田区）と日産プリンス名古屋（同千種区）の新社長に、日産自動車前常務執行役員の神田昌明氏＝写真＝が1日付で就任した。両社は2026年4月に統合して新たに日産愛知販売を立ち上げることが決まっており、神田氏のかじ取りが注目される。また、副社長には愛知日産前社長の高橋博文氏が就任した。

神田社長は同日に実施した日産プリンス名古屋の入社式で統合にふれ、「どちらも素晴らしい会社だが、会社にとって規模は大事だ」と強調。「さらに顧客から選ばれ、多くの人が入社しようと思う会社を目指す」と意気込みを語った。

〈プロフィル〉かんだ・まさあき　1990年3月金沢大学経済学部卒業。同年4月日産自動車入社。三重日産や東海日産での勤務などを経て、2010年4月北見日産社長。12年4月日産アフターセールス日本本部長。22年4月から常務執行役員。57歳。1967年9月生まれ、愛知県出身。

J－クレジット購入で脱炭素を推進

愛三工業

愛三工業は、長野県王滝村と同県木曽町から「J－クレジット」を購入し、愛知県大府市の本社で認定証の授与式を開いた。適切な森林管理による二酸化炭素（CO_2）の吸収量を国が認証する制度を利用し、70㌧分を購入する。これによりカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）を推進するとともに、地域の脱炭素や森林保全に貢献する。

王滝村と木曽町は、愛知県に工業用水や水道用水などを供給する愛知用水の水源である「牧尾ダム」を擁し、水源の森林を保全する目的でJ－クレジットを創出している。大府市は、2023年に両地域と連携協定を結び、水源や森林の保全で連携する。

認定証授与式に出席した同社の山家吉智執行幹部（カーボンニュートラル担当）＝写真右から2人目＝は「（クレジットを）環境にやさしいものづくりに活用するとともに、地域とさらなる連携を深めていきたい」と語った。

茨城県の磯野モータースをグループ会社化

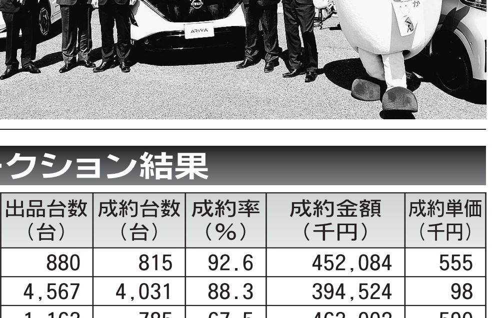
宇佐美鉱油

ガソリンスタンド大手の宇佐美鉱油（宇佐美智也社長、愛知県津島市）は3月27日、子会社の東日本宇佐美が車検整備を手掛ける磯野モータース（茨城県神栖市）の全株式を取得したと発表した。宇佐美グループとして、給油以外の事業を強化する狙いだ。

磯野モータースは指定整備事業者で、元オーナー一族を除いた従業員数は3人。買収に伴い、社長には東日本宇佐美の髙橋智幸社長が就く。同社が磯野モータースを合併した後、給油所等を併設しない単独の整備工場として運営する。宇佐美グループは昨年7月に仙台市宮城野区の但野鈑金塗装工業、今年1月には富山県射水市の大信自動車を相次いで買収しており、整備部門の拡充を図っている。

ヨロズなどとEV活用脱炭素化協定

岐阜日産



【岐阜】岐阜日産（星野真一社長）、日産、自動車サスペンションメーカーのヨロズ、ヨロズグループのヨロズサステナブルマニュファクチュアリングセンター（YSMC、及川隆司社長、輪之内町）の4社は、岐阜県輪之内町と「電気自動車（EV）を活用した脱炭素化及び強靭化に関する連携協定」を締結した＝写真。脱炭素化実現に向けたEV普及を促進し、町やヨロズは公用車や社用車にEVの導入を進める。災害時には岐阜日産やYSMCが町にEVを貸与し、非常電力源としての使用を促す。

県内で同協定を締結した自治体は8番目。日産が全国で進める電動化アクション「ブルー・スイッチ」活動にヨロズ、YSMCが賛同した。締結式で朝倉和仁町長は「今回の活動を町民へもしっかりと周知する」とあいさつした。ヨロズの平中勉社長は「まちづくりに向けた強靭化、災害対策へ共同で取り組みたい」、星野社長は「EVの価値を多くの消費者に伝え、協定が目指す脱炭素化実現と災害に強い町づくりに向け貢献したい」とそれぞれ述べた。

イベントで交通安全を訴求

JAF岐阜

【岐阜】日本自動車連盟（JAF）岐阜支部（加藤元康支部長）は、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催された「はたらくのりもの大集合」に参加し、交通安全の啓発運動を実施した。シートベルトコンビンサーによる疑似衝突体験を実施し、会場に訪れた消費者にシートベルト着用の重要性を訴えた＝写真。

イベントは岐阜市を拠点とするプロサッカークラブのFC岐阜が主催した。当日は岐阜大学も参加し、昨年の「学生フォーミュラ日本大会」で総合5位（78チーム中）に入った車両を展示した。フォーミュラカーとの写真撮影には、多くの子どもが来場した。工学部機械工学科の菊地聡准教授は「幅広い年齢層に学生フォーミュラの活動を広めていきたい」と話した。

オートオークション結果

開催日	会場名	出品台数(台)	成約台数(台)	成約率(%)	成約金額(千円)	成約単価(千円)
3月24日(月)	ホンダAA名古屋	880	815	92.6	452,084	555
25日(火)	USS－R名古屋会場	4,567	4,031	88.3	394,524	98
	CAA岐阜会場	1,163	785	67.5	463,002	590
	JU三重オートオークション	1,005	470	46.8	155,497	331
	JU静岡オートオークション	1,163	827	71.1	142,662	172
	JU福井オートオークション	173	79	45.7	20,061	254
26日(水)	CAA中部会場	5,829	4,431	76.0	3,308,601	747
	JU石川オートオークション	305	202	66.2	64,059	317
27日(木)	JU愛知オートオークション	4,003	3,140	78.4	1,182,853	377
	TAA中部	3,269	2,696	82.5	1,490,697	553
	NAA名古屋	640	498	77.8	253,647	509
	SAA浜松	456	273	59.9	198,744	728
	JU富山オートオークション	653	371	56.8	95,439	257
28日(金)	USS名古屋会場	11,871	6,529	55.0	11,030,945	1,690
	ミライブ愛知会場	1,337	632	47.3	224,151	355
29日(土)	USS北陸会場	456	368	80.7	101,569	276
	JU岐阜羽島オートオークション	5,251	2,467	47.0	1,523,025	617
	USS静岡会場	2,672	1,768	66.2	654,468	370

（主催者発表）